

KAERU PROJETO 日本セミナー2010

日本からブラジルに帰国した家族・子どもたちの現状は？
帰国前にすべきこと、帰国後にやらねばならないことは何か？

ブラジルの現状はどうか？帰国した家族は？帰った子どもたちは直ぐに学校に入ることが出来、また問題無く順応出来ているのでしょうか？

昨年引き続きサンパウロ州で帰国児童のケアを進める活動「カエルプロジェクト」を進めておられる Dr. ナカガワ及び一緒に活動されておられる澄田・クリスチーナさんに来日頂き、帰国児童生徒の抱える問題点などをお話頂きます。

「カエルプロジェクト」とは？

サンパウロ州教育省とサンパウロ州 NPO 法人「教育文化連帯学会 (ISEC=Instituto de Solidariedade Educacional e Cultural)」が実施している活動。

(ブラジル三井物産基金の支援あり)

目的は、日本より帰国した日系ブラジル人子どもたちの健全な成長に向け、ブラジル社会への順応・スムーズな学校への編入などを出来る様にするための支援です。



この活動を始めた理由は、日本で就労した（出稼ぎ）家族の子どもたちが帰国後、学校への編入の際に様々な問題が発生しているからです。特に、日本滞在が長期化し、日本生れの子どもたちもいるので、母語のポルトガル語の能力不足、日本とブラジルの文化・社会環境の違いからストレスや精神的・情緒的不安に悩む子どもたちが増えています。

そのための受入れ体制の整備（心理的・社会的・教育支援及びポルトガル語・ブラジル人社会の文化・習慣・ルールを教えるための補習など）が急務であり、このカエルプロジェクトはその具体的な活動の第一歩です。

今回は保護者の方々を中心にポルトガル語で進めます。ポルトガル語・日本語の同時通訳の準備も行います。

会場の方々との質疑応答の時間も設けますが、基礎的な質問はお配りしてある Q+A にありますのでそれを参考にして頂き、それに含まれないものに限定的ようにお願いします。

Retornar

帰る

Kaeru

Transformar

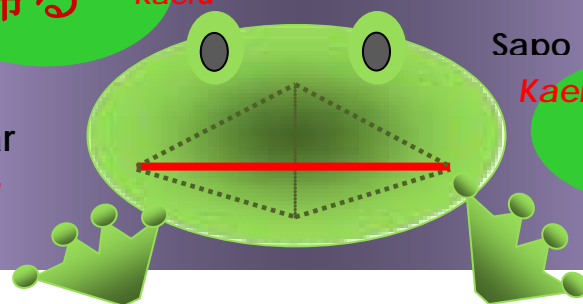
変える

Kaeru

Sapo

Kaeru

蛙





中川郷子 (なかがわきょうこ)

心理科医サンパウロ・カトリック大学(PUC-RS)修士号・博士号。
「カエルプロジェクト」コーディネーター
数年前から日本から帰国した児童の就学指導・カウンセリングを行う「カエルプロジェクト」を主宰。
日本におけるブラジル人児童および青少年に関する著作多数。



澄田春美 (すみたはるみ)

・クリスチーナ
ブラジルサンパウロカトリック大学心理学士、
社会心理学修士、サンパウロ医科大学、法律医学部研究者。サンマルコス大学人類心理学教師。
ISEC カエルプロジェクトの心理学士として
Dr 中川と一緒に活躍中。

スケジュール

10月26日(火) 愛知県豊橋市

会場：豊橋市公会堂

時間：19:00~21:00 (開場 18:30)

連絡先：NPO 法人 ABT 豊橋ブラジル人協会

Tel : 0532-39-3437 (月~金/9:00~18:00)

Fax : 0532-39-5591

E-mail : info@npoabt.jp

※当日は、同時通訳での講演会となります。

※参加をご希望の方は、10月22日(金)までに、電話、FAX、メールいずれかの方法でお申し込み下さい。メールでお申し込みの場合、通訳受信機が必要な方は、その旨、必ずお知らせください。

※個人的に相談を希望する場合には、事前に上記連絡先に申し出て下さい。

主催：三井物産株式会社

協力：NPO 法人 国際社会貢献センター (ABIC)

共催：NPO 法人 ABT 豊橋ブラジル協会

後援：豊橋市、豊橋市教育委員会

-----FAX 申込書-----

名 前	同時通訳受信機
	要 ・ 不要

Fax : 0532-39-5591 / 締め切り 10/22 (金)